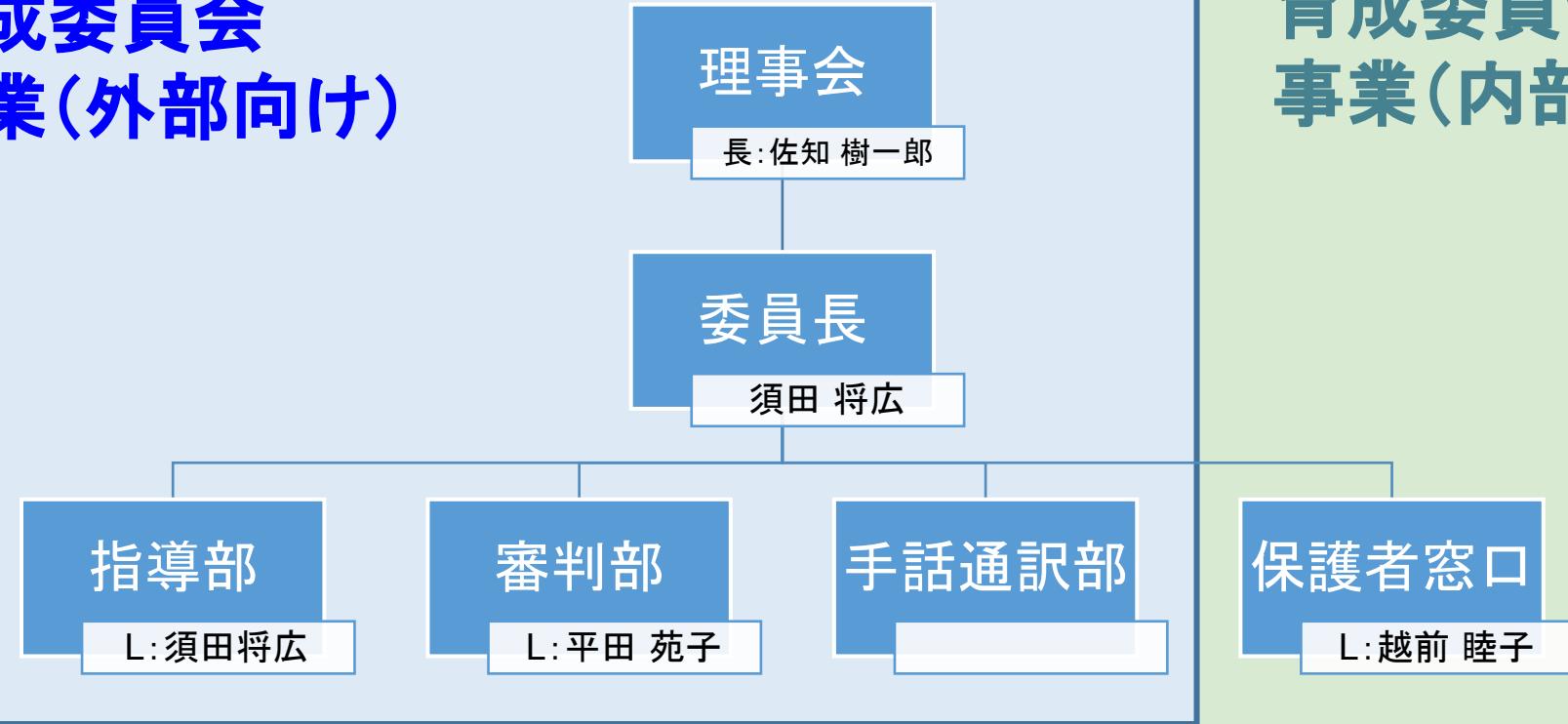


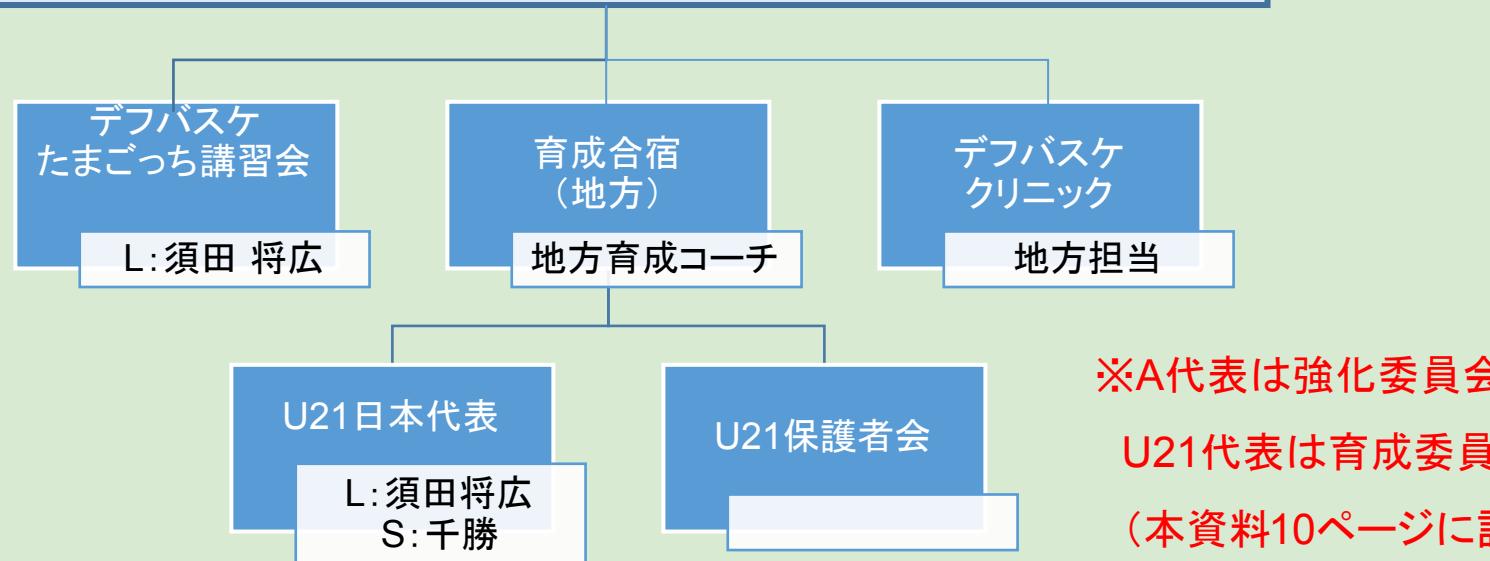
育成委員会 組織図(案)

特定非営利活動法人 日本デフバスケットボール協会
ジェネラルマネージャー 須田 将広

育成委員会 事業(外部向け)



育成委員会 事業(内部向け)



※A代表は強化委員会、
U21代表は育成委員会が管理する
(本資料10ページに詳細あり)

指導部

- ・リーダー:須田 将広

- ・メンバー:

- ・業務内容:

- ・デフを深く指導できる指導者の育成メニュー考案と標準化

- ・U12～U21育成選手の育成メニュー考案と標準化

- ・サインバスケの普及と発展につながる活動(デフバスケたまごっち講習会)

※Deaf: 主に視覚を活用した対話で社会生活をしているデフ

審判部

- ・リーダー: 平田 苑子
- ・メンバー: 廣島 美子、嶺藤 至、須田 将広
- ・業務内容:
 - ・デフバスケにおける審判の定義(通常の審判との差別化)
 - ・声出しバイオレーションの標準化
 - ・デフ審判の育成(デフバスケたまごっち講習会)

手話通訳部

- ・リーダー:

- ・メンバー:

- ・業務内容:

- ・デフバスケにおける手話通訳者の定義化(通常の通訳者との差別化)

- ・例)試合における手話通訳者の必要性、T.Oなど試合要員の情報保障について等

- ・バスケ競技に精通した手話通訳者の育成(デフバスケたまごっち講習会)

保護者窓口

- ・リーダー: 越前 瞳子
- ・メンバー: 中嶋さん、榎本さん、原重さん(理事)
- ・業務内容:
 - ・U12～U21育成選手の保護者同士の情報交換(LINEグループ活用)
 - ・LINEグループ追加権限は越前さんのみ、片親のみとするなどルール化
 - ・子供のバスケ環境で悩む親の相談窓口(ホームページからのメール等)

デフバスケたまごっち講習会(全国育成合宿)

- ・リーダー:須田 将広
- ・メンバー:山田、三瀬、嶺藤、橋本、廣島、千勝、野口
- ・業務内容:
 - ・アンダーカテゴリを含む全国のデフ選手の競技力向上
 - ・サインバスケのクレオール言語化(現場実践、ワークショップなど)
 - ・デフ選手を深く指導できる指導者の育成
 - ・声出しバイオレーション含む、デフバスケを深く理解した審判の育成
 - ・デフバスケ競技に精通した手話通訳者の育成

デフバスケットボール・クリニック

- リーダー:

- メンバー:

- 業務内容:

- 外部から講師を招いてバスケ競技力向上を狙った企画
- 元含むプロ選手、元含む監督などを招待する
- バスケに精通した手話通訳者の育成にもなる(講師の意図を掴む)

育成合宿(地方※)

・リーダー:須田 将広

※地方ブロックごとに育成合宿を実施し、
そのときの育成コーチの中から、
U21日本代表監督を推薦する形を検討する
(大会でデフチーム指導歴があることも必須条件)

・メンバー:育成コーチ

※育成合宿の全国版は
「デフバスケたまごっち講習会」とする

・業務内容:

- ・U12,U15,U18,U21カテゴリの選手を中心に育成する
- ・育成方針は統一すること(U21世界選手権チームビルディング視野)
- ・「Deaf※」としての自覚からサインバスケを理解する

※Deaf:主に視覚を活用した対話で社会生活をしているデフ

U21日本代表①

- ・リーダー:須田 将広
- ・メンバー:保護者スタッフ
- ・業務内容:
 - ・U21デフバスケ世界選手権に派遣する日本代表チームの統括(人事、会計、合宿)
 - ・日本代表チームビルディングプランの考案、U21育成強化合宿の開催
 - ・U21選手の自己負担を軽くするための活動(助成金など)
 - ・U21選手の保護者で構成した「U21保護者会」との協力体制を構築
 - ・保護者スタッフの精度を導入を検討(しっかりとしたルールを作る必要あり)

U21日本代表②

- ・強化委員会との棲み分けについて
 - ・強化委員会はA代表、育成委員会はU21代表を担当
 - ・U21代表でも、A代表に選ばれている選手はA代表優先で問題ない
 - ・原則、U21世界選手権に参加したい場合はU21合宿に参加必須
 - ・選手が自分の意思で参加を決める(上からの強制はしない)
 - ・詳細は、強化委員会と検討するが、最終的には理事会が決定する